

# おびZoo たんけんワークシート 解説

## アミメキリン



### A1: ③3本

オスもメスも3本ありますが、オスは成長すると長い2本の角の後ろに2つのコブのような骨が隆起します。この部分を角として数えることもあり、オスの角は5本とする場合もあります。角は、骨が硬い皮膚で覆われていて、オスのほうが太くなります。さらにオスは成長すると顔全体に骨が隆起し、ボコボコとしてきます。これはメスをめぐるって頭をぶつけあうネッキングという闘争をするためです。

### A2: ②

先のとがった大きな耳をしています。前、後ろ、横に向けられ、左右別々に動かすことができます。

### A4: ③木の葉、芽や実、草

野生では、主にマメ科の木の葉（アカシア）を食べています。また木の芽や実も食べます。40～50cmほどの長い舌で、葉を巻き取り、こそぎとります。

おびひろ動物園では、木の葉のほかに、マメ科の乾草（干し草）やペレットを与えています。

### A3: ①白色と茶色

イラストで描かれるキリンは黄色のイメージですが、実は白っぽい色に茶色の模様です。たてがみも茶色です。個体ごとに模様に違いがあり、産まれてから一生変わらないので、個体識別に使われます。

### A5: ②2つ

偶蹄目（ウシ目）キリン科に属するウシの仲間なので、つめは2つに分かれています。指は中指と薬指の2本しかありません。ウシやヤギ、ヒツジにあるような副蹄（ふくてい：足の後ろについている小さなつめ）は、キリンにはありません。

